

～「よし！ごみを減らそう！」と思ってくれる人が一人でも増えるように願いを込めて～

4R通信（第45号）

断わる 減らす 繰り返し使う 資源化する
『リフューズ♪リデュース♪リユース♪リサイクル』

『クリーンセンター常武』から『知多南部広域環境センター』に 移行まであと1年！

現在、集積場に出していただいたもえるごみや、ごみ袋に入らない大きなごみは、クリーンセンター常武で回収しておりますが、令和4年4月から常滑市、半田市、南知多町、美浜町及び武豊町の2市3町で運用する新しいごみ処理施設「知多南部広域環境センター」に移行します。

知多南部広域環境センターは知多南部地域から出るごみを1か所に集め、効率よく処理することで、環境へのダメージを減らせるほか、運営のためのコストを抑えることができます。新しいごみ処理施設に移行しても、資源回収ステーションなどを活用し、今までどおりごみ減量にご協力をお願いいたします。

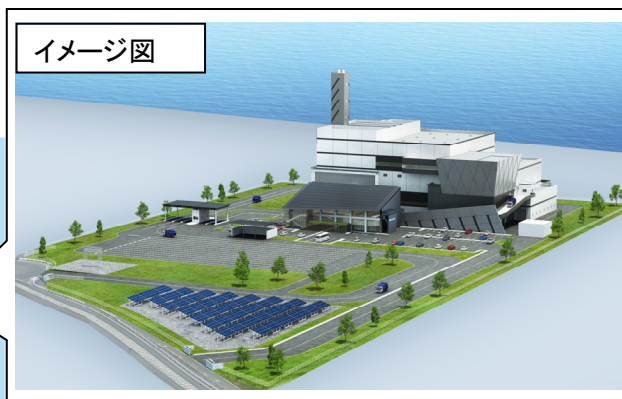
★知多南部広域環境センターの概要★

- 【供用開始】 令和4年4月1日(令和4年1月から収集ごみ等は試運転として処理)
- 【建設地】 知多郡武豊町字一号地地内(施設位置図参照)
- 【受入時間】 平日:8時30分から16時15分まで
土曜:8時30分から13時まで
- 【処理手数料】 家庭系ごみ10kg当たり100円、事業系ごみ10kg当たり200円(予定)
- 【愛称】 ゆめくりん

施設位置図



イメージ図



「4R とこなめ チャレンジ500」気が付けば わたしが主役 ごみ減量
常滑市では、1人1日当たりの家庭ごみ排出量**500g**を目標としています。

知っていますかSDGs（エスディージーズ）

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



この頃よく聞くSDGsとは、2015年に国連サミットで採択された、持続可能な世界の実現のための2030年までの世界共通の目標のことを言います。目標は、意欲目標である17のゴールと、その下に、行動目標となる169のターゲットから構成されています。

ごみの資源化・減量化を、SDGsの17のゴールに当てはめると、フードバンク事業は**ゴール2**の「**飢餓をゼロに**」、廃棄物の処理は**ゴール11**の「**住み続けられるまちづくりを**」、ごみを発生させない行動は**ゴール12**の「**つくる責任つかう責任**」、そして海洋プラスチック問題は**ゴール14**の「**海の豊かさを守ろう**」に該当します。

世界共通と大きな目標ですが、市民一人ひとりが取り組んでいけば、9年後の2030年がよりよい世界になると思います。

【身近にできるSDGsの取組み】

ゴール		行動例
	ゴール2 飢餓をゼロに	●まだ食べられるけど、食べないものはフードバンク事業などに寄附する。
	ゴール11 住み続けられるまちづくりを	●使わなくなったものは、リユース・リサイクルする。 ●生ごみを減らすため生ごみ減容機器を利用する
	ゴール12 つくる責任つかう責任	●冷蔵庫の中のものを定期的にチェックし、あるものを使い切る。 ●3010運動の普及
	ゴール14 海の豊かさを守ろう	●ポイ捨てなどが原因でプラスチックごみが海へ流出するため、「ワンウェイプラスチック」を使用しない。